

ダイバーシティ社会推進、男女共同参画、市民活動・ボランティア等に関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
ダイバーシティ社会推進課	2023年02月14日から 2023年02月28日まで	1384	836	60%

今回は、ダイバーシティ社会推進課からのアンケートです。

ダイバーシティ社会推進課では、性別、年齢、障がいの有無、国籍・文化的背景、性的指向・性自認など多様性を認め合い、誰もが希望を持って、挑戦し、参画・活躍できるダイバーシティ社会の実現に向けて取組を進めています。

また、一人ひとりが性別にかかわらず、家庭や地域、職場において、能力と個性を十分に発揮できる「男女共同参画社会の実現」や、地域の諸課題の解決に向けた取組がより進むよう「市民活動・ボランティア等の推進」へのさまざまな取組を行っています。

今後のダイバーシティ社会の推進や男女共同参画の実現、市民活動・ボランティア等の推進に向けた取組に役立てるため、ご協力をお願いします。

<参考>

関連する三重県のホームページ

- ・ダイバーシティ社会推進 <https://www.pref.mie.lg.jp/common/01/ci400013451.htm>
- ・男女共同参画 <https://www.pref.mie.lg.jp/IRIS/HP/index.htm>
- ・市民活動・ボランティア等の推進 <https://www.pref.mie.lg.jp/NPO/index.htm>

■ Q1 「ダイバーシティ」について

はじめに、ダイバーシティについてお聞きします。
あなたは、「ダイバーシティ」という言葉を知っていますか。

合計	836	
知っている	487	58.3%
知らない	349	41.7%

■ Q2 ダイバーシティ社会の実現について 1

性別や年齢、障がいの有無、国籍等に関わらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現のために、さまざまな取組が必要であると考えます。これらの取組を県民の皆さんとともに進めるうえで、あなたは、県の取組として何を優先すべきであると思いますか。主なものを2つまで選んでください。

合計	836	
ダイバーシティの理解・共感	523	62.6%
教育	320	38.3%
世代、障がい、国籍・文化などを越えた交流	232	27.8%
暮らしにおける地域の支え合い	152	18.2%
あらゆる分野での女性の活躍	47	5.6%

就労環境の充実・働き方改革	198	23.7%
その他	15	1.8%

■ Q3 ダイバーシティ社会の実現について 2

あなたは、外国人住民が地域社会の一員として共に暮らせる社会になっていると感じますか。あなたの実感にもっとも近いものを1つ選んでください。

合計	836	
感じる	26	3.1%
どちらかといえば感じる	291	34.8%
どちらかといえば感じない	306	36.6%
感じない	103	12.3%
わからない・不明	110	13.2%

■ Q4 性のあり方の多様性について 1

次の言葉のうち、言葉も内容も知っているものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

LGBT…レズビアン（Lesbian女性の同性愛者）・ゲイ（Gay男性の同性愛者）・バイセクシュアル（Bisexual両性愛者）・トランスジェンダー（Transgender出生届・戸籍上の性別とは違う性別で生きる人、生きたい人）の頭文字をとって組み合わせた総称。

性的指向…好きになる相手、性的対象が誰（同性・異性・両性）であるか。

性自認…自分の性別をどう認識するか。

SOGI…すべての人の性的指向（Sexual Orientation）・性自認（Gender Identity）を表す言葉。

合計	836	
LGBT	771	92.2%
性的指向	488	58.4%
性自認	368	44.0%
SOGI	68	8.1%
どれも知らない	53	6.3%

■ Q5 性のあり方の多様性について 2

あなたは、多様な性的指向・性自認やLGBTなどについて、これまで学んだことはありますか。

合計	836	
ある	237	28.3%
ない	599	71.7%

■ Q6 性のあり方の多様性について 3

Q5で「ある」を選んだ方にお聞きます。あなたは、これまでにどのような場で学んだことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	237	
学校の授業	47	19.8%
講演会や研修会への参加	88	37.1%
関連イベントへの参加	12	5.1%
マスコミ報道（新聞、テレビ）	148	62.4%
書籍	51	21.5%
支援団体等のホームページ	19	8.0%
当事者との交流会	18	7.6%
その他	26	11.0%

■ Q7 性のあり方の多様性について 4

あなたは、「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例」（令和3年4月1日施行）を知っていますか。

合計	836	
知っている	44	5.3%
名前は聞いたことがある	138	16.5%
知らない	654	78.2%

■ Q8 性別について

ここからは、男女共同参画についてお聞きします。

男女の性別によるアンケート結果の分析のため、あなたの性別（自認する性）をお答えください。

なお、選択肢がない場合は回答不要です。

合計	832	
男性	434	52.2%
女性	398	47.8%

■ Q9 男女平等について（社会全体）

あなたは、社会全体（※）で、男女の地位が平等になっていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※家庭、地域、会社をはじめとするさまざまな場面をお考えください。

合計	836	
男性の方が非常に優遇されている	88	10.5%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	458	54.8%
平等である	110	13.2%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	57	6.8%
女性の方が非常に優遇されている	21	2.5%

わからない	102	12.2%
-------	-----	-------

■ Q11 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

「男は仕事、女は家庭」のように性別によって役割を固定する考え方について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	836	
同感する（考え方に賛成）	18	2.2%
どちらかといえば同感する	155	18.5%
どちらかといえば同感しない	279	33.4%
同感しない（考え方に反対）	327	39.1%
わからない	57	6.8%

■ Q12 女性の働き方について（考え方）

あなたは、女性が結婚・出産した場合の働き方についてどのようにお考えですか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	836	
結婚するまでは働くが、その後は働かない方がよい	9	1.1%
妊娠・出産までは働くが、その後は働かない方がよい	23	2.8%
産前産後休暇や育児休業等を利用しながら、出産後も働き続ける（キャリアを継続する）方がよい	482	57.7%
妊娠・出産したら一旦退職し、子育てが落ち着いたら再び働く方がよい	167	20.0%
その他	110	13.2%
わからない	45	5.4%

■ Q13 NPOについて

ここからは、市民活動・ボランティア等についてお聞きします。
あなたはNPO（法人格がある・なしを問いません）を知っていますか。
NPOとは、さまざまな社会貢献活動をする民間非営利団体の総称です。

合計	836	
詳しく知っている	198	23.7%
聞いたことがある	607	72.6%
全く知らない	31	3.7%

■ Q14 NPOのイメージについて

あなたはNPOにどんなイメージを持っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	836	
良い	85	10.2%
どちらかといえば良い	441	52.8%
どちらかといえば悪い	100	12.0%
悪い	11	1.3%
わからない	199	23.8%

■ Q16 e-モニターアンケートに参加したご感想について

最後に、広聴広報課からお聞きします。

この1年間、e-モニターとしてアンケートにお答えいただき、三重県政を身近に感じていただけようになりましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	836	
とても感じる	137	16.4%
どちらかと言えば感じる	558	66.7%
どちらかと言えば感じない	107	12.8%
全く感じない	20	2.4%
その他	14	1.7%